

H30 妙高西条農園たより

NO. 1

平成30年4月23日 (4月号)

今年の新潟の冬は地域により降雪の状況に違いがあり、通常では降雪の少ない平野部での雪が多かったことから、JRの電車では2日間もお客様が閉じ込められたり、高速道路が通行止めとなったりしましたが、山間部では平年並みの降雪で済んだことから、順調に春を迎えました。そんなわけで新潟の桜も例年より10日も早く開花し、高田公園のお花見でも予定されていた行事が葉桜になってから行われる事になり、関係者も例年ない苦労があったようです。

当農園でも、雪解けが例年より早く進んだことから、種籾の準備や苗作りのビニールハウスの建込みを1週間ほど前倒して作業をすすめてきました。

純正コシヒカリ種籾 HB-101入り水に浸水

籾播き作業

購入した有機肥料等



今年も美味しい「有機ミネラル米」を生産するため、春の耕耘前に鶏糞、米糠、籾殻燻炭、有機肥料の元気ゆうき君、ケイ酸肥料、ミネラル肥料のメインマグCをトラクターですき込みました。

4/9 苗箱に種籾播種を行い、芽だし機に入れ、4/13に発芽した苗箱をビニールハウスに移動しました。

昔から、苗作りの良い悪いで秋の収穫が半分決まるといわれていますので、良い苗作りに努力しているところです。今年も苗箱の生育状況を確認しながら HB-101 薄め液を2回にわたり5cmに伸びた苗に散布しました。

4/16 HB-101散布

4/22 約10cmに伸びた苗

4/22 第2回目のHB-101散布



4月21日からトラクターにより、前述の有機肥料やミネラル土壌改良材をすき込み、その後耕耘を行います。今年も5月3日から、用水路に水が流される予定ですので、即圃場に水入れし代掻きを行い、連休末には田植えを行う予定です。

5/12 13日比谷公園でイベント用ハッピー

春の耕耘前に有機肥料等をトラクターで均等にすき込み



今年も「みどりの感謝祭」行事として農林水産省、東京都、国土緑化推進機構(みどりの羽)等主催の月間行事の締めくくりとして開催されます。「みどりとふれあうフェスティバル」が5月12(土)～13(日)東京都日比谷公園で開催されます。

弊社としましては、この行事に賛同と協力をするため、20年前から出展をおこなってきました。毎回メグスリノキの製品、新潟のお酒、肝太君ちのコシヒカリ等を持ち込み紹介、販売してきましたが、特に新鮮な山菜が皆様方に好評を得ています。今年も、昨年新発売しました「メグスリノキ肝太うこん」の販売も行いたいと思っていますので、皆様お忙しい中と思われませんが、是非お出かけ下さいませようお願いいたします。

今年のブース位置は、去年の隣でD-12です。

スタッフ全員がオレンジ色(上記写真)のハッピーを着用し、皆様をお待ちしています。

○今年も、雪解けと共に農作業が始まりましたので、「妙高西条農園たより」の発刊を再開しますので是非一読願ひ、ご意見感想等を返信願ひます。

発行者：〒944-0023 新潟県妙高市西条755

妙高西条農園長 池田博子

☎ 0255-72-3497 fax 0255-72-2908

URL: <http://www.kanta.jp> E-mail: ikedata@kanta.jp